

登録コード	L2980100	開講年度	2026				
担当教員	塩原 佳典 他			副担当	市川 正夫・塩原 佳典		
授業科目	社会科・地理歴史科指導法						
英文授業名	Methods in Teaching Geography and History						
授業タイトル	社会科・地理歴史科指導法						
単位数	2	対象学生	2～4	講義期間	通年	曜日・時限	集中・不定期 集中・不定期
講義室	人文第1講義室 人文206演習室	遠隔授業科目		読替科目			
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			【授業の達成目標】			
	2021Lカリ、2020Lカリ 【2022年度以前加わった対象】自明とされる事柄に対し、深くその根拠を問い直し新たな認識を構築できる思索力			教科書を的確に理解、批評する教材研究のための基礎的思索力を身につける。現実の子どもにどのような知識と学力をつけさせるか、を考え、授業実践に活かせる批判力を身につける。過去の授業実践から学ぶ。指導案作成、模擬授業実践に関連する表現力を身につける。指導案を作成できる企画構想力身につける。			
授業で学べる「テーマ」	キャリア						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	歴史教育そのものの歴史と現状について、社会科歴史的分野・地理的分野、高等学校地理・歴史科のそれぞれにふれながら、基礎的な問題点を検討する。教材研究と学習指導案づくりを中心に歴史教育の方法を学び、各自の模擬授業の実践を通じ、歴史教育の問題を考察する。						
授業計画	授業計画（2時間×15回分） 第1回：ガイダンス（概論、授業計画の説明） 第2回：中学校社会科・高等学校地理・歴史科教育の目標と内容構成 第3回：中学校社会科・高等学校地理・歴史科教育の変遷 第4回：中学校社会科・高等学校地理・歴史科教育の学習理論と評価 第5回：中学校社会科地理的分野の概要 第6回：中学校社会科歴史的分野の概要 第7回：高等学校地理・歴史科 日本史・外国史の概要 第8回：高等学校地理・歴史科 地理の概要 第9回：模擬授業（1） 中学校社会科歴史的分野（前近代史） 第10回：模擬授業（2） 中学校社会科歴史的分野（近現代史） 第11回：模擬授業（3） 中学校社会科地理的分野（ICT機器の活用を含む） 第12回：模擬授業（4） 高等学校地理・歴史科（日本史） 第13回：模擬授業（5） 高等学校地理・歴史科（外国史） 第14回：模擬授業（6） 高等学校地理・歴史科（地理、ICT機器の活用を含む） 第15回：まとめと質疑討論・授業アンケート 定期試験（行わない） 市川先生担当分（集中講義）：8月31日～9月2日 各2限～4限（9月2日のみ2限～3限） 塩原佳典先生担当分（後期隔週）：						
成績評価の方法	学習指導案（30％）、模擬授業の内容（40％）、参加態度（30％）を総合して評価する。無断欠席は認めない。						
成績評価の基準	的確な教材研究と模擬授業および質疑での発言をしているかによって判断する。教材研究・授業構想が優れている場合（卓越している）、教材研究が充分出来ている（かなり上にある）、模擬授業が優れている（やや上にある）、的確に教材研究・模擬授業を実施した（合格水準にある）。						
事前事後学習の内容	教科書（教材研究）を行うこと。また、学習指導要領および指導案の作製は模擬授業の事前学習として課す。 各自で「まとめ」をし、その都度の授業に活かせるようにする。						
履修上の注意	指導案の作製や教材研究など課題を多く課すので、予習・復習は必須となる。 また、中学校社会科教科書および各自が用いていた高等学校地理・歴史科（日本史・世界史）の教科書を必ず用意、持参すること。 現場の先生方との対話が可能な場合には授業外時間に実施する場合がある。						
質問、相談への対応	授業の前後で直接対応します。						
教科書	中学校社会科歴史的分野教科書・高等学校地理・歴史分野教科書						
参考書	都度紹介します。						